

愛知登文会総会報告

第6回

平成28年6月15日発行

平成28年度総会

平成28年5月24日（火）開催

平成28年5月24日（火）、半田赤レンガ建物クラブハウスBにおいて、愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会平成28年度総会を開催しました。

総会

午後2時～3時

平成28年度総会は、正会員総数62名のうち36名出席（うち委任状22名）のもと、佐地秀明副会長の開会の辞で始まり、今回半田赤レンガ建物での開催にあたり、半田市観光課の皆様にご協力いただきました。また、ご来賓には、愛知県文化財保護室室長 野村均様、あいちヘリテージ協議会代表世話人 望月昭様、なごや歴まちびとの会会長 野村昭男様、大阪登文会の寺西興一様と、青山修司様にご臨席を賜りました。議題では、いずれも原案通り異議なく承認されました。



半田赤レンガ建物前にて記念撮影

会長あいさつ

会長 長谷川良夫

本会は平成23年に設立され、今年で6年目に入ります。初年度は予算も少なく年に数回の研修会や総会を開催する程度かと思っておりましたが、幸いにも文化庁の助成金をいただき、5年間毎年多くの事業をやってこられました。これも皆さんのご支援のたまものだと思います。この5年間県外に視察を行い、その中で見えてきたのは登録文化財所有者の方の非常に厳しい現実がございます。ぜひ今後、皆さんやほかの団体と連携して文化庁に働きかけていきたいと思っております。自分たちが先頭に立ってやらねば何事も回転しない。私ももう少し会長として頑張ります。本日の総会でみなさまのご忌憚ない意見をうかがい、実りある会にしたいと思います。

1 開会の辞／2 会長挨拶／3 来賓祝辞／4 議長指名
5 議題

- 第1号議案 平成27年度事業報告
 - 第2号議案 平成27年度決算報告及び会計監査報告
 - 第3号議案 平成28年度役員について
 - 第4号議案 平成28年度事業計画について
 - 第5号議案 平成28年度予算について
- 6 表彰／7 閉会の辞／8 写真撮影

総会の中で行なった表彰は、昨年から新しく始まった取り組みです。今回は愛知登文会5周年の節目ということもあり、表彰事業立ち上げの周知を兼ねて、これまで理事としてご尽力いただきました所有者の方8名を表彰しました。



表彰について趣旨説明

会長 長谷川良夫

このような表彰制度を設けたきっかけは、一昨年静岡県の蒲原を視察させていただいた際に、がんばって古い家を維持している人を表彰するという取り組みを紹介いただいた際に、そのことを所有者の方がうれしそうに語られていたのが印象的だったからです。

愛知県内でも保存活用に様々な努力をされている所有者の方などが多数おられます。表彰という形で、そのことを多くの人々に知ってもらうことが、所有者の方の励みになり、そのような取り組みが広がっていくきっかけになるのではないかと考えました。

なお、今後は広く自薦・他薦を含めて表彰対象を募集し、毎年の総会で表彰させていただければと考えています。



表彰を受ける佐地理事と小栗理事

登録文化財紹介

午後3時15分～4時45分

5つの登録文化財（滝学園、旧小守家住宅、野間郵便局旧局舎、三井家住宅、八丁味噌）の所有者の方から、歴史や建物の特徴、活用状況、所有者としての想いなどをお話していただきました。

また、半田赤レンガ建物の宮道館長より解説をいただき、休憩時には赤煉瓦倶楽部半田の馬場理事長より館内を案内していただきました。



登録文化財紹介



建物案内ツアー

交流会

午後5時30分～7時

会場をクラブハウスAに移し、交流会を開催しました。カブトビールや早すしなど、半田市ならではの料理が並び、柴田理事の乾杯の音頭で始まりました。また、長谷川会長より「忍冬酒」が、小栗理事より「愛してる」がふるまわれました。総勢45名の方々が親睦を深めました。



交流会の様子

役員体制

理事長(会長)	長谷川良夫	(犬山城下町を守る会会長)
理事(副会長)	佐地 秀明	(名古屋陶磁器会館)
"	小栗 宏次	(小栗家住宅主屋ほか)
理事	天野 啓介	(大野宿鳳来館ほか)
"	石川新太郎	(明治村・第八高等学校正門ほか)
"	筧 清澄	(筧家住宅主屋)
"	柴田 正康	(柴田家住宅主屋)
"	清水 勝之	(岡崎信用金庫資料館)
"	若山 宏	(名古屋テレビ塔)
理事(事務局長)	松井三希子	(名古屋陶磁器会館)
監事	近藤 佳世	(愛知県教育委員会文化財保護室)
"	久野 恭裕	(C R A F I S 総合会計事務所)
相談役	瀬口 哲夫	(名古屋市立大学名誉教授)
"	杉野 丞	(愛知工業大学建築学科教授)
"	小川 芳範	(愛知県教育委員会文化財保護室長補佐)
"	井澤 知旦	(名古屋学院大学現代社会学部教授)
"	牧 謙治	(愛知県立一宮高等学校教頭)

愛知登文会では、昨年度に引き続き平成28年度も文化庁補助事業「文化遺産を活かした地域活性化事業」との連携により活動を実施するとともに、会独自の事業として情報発信や県外視察などを実施する予定です。なお、文化庁補助事業については6年目となり補助額が大きく減額されたことから愛知登文会として独自性のある事業を絞り込んで実施します。皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

文化庁補助事業「文化遺産を活かした地域活性化事業」による事業(予定)

文化財所有者プロジェクト—文化財所有者による建造物の保存・活用に向けて、意識改革を促進していく事業

- ① 文化財建造物保存・活用講座事業(継続) 一全4回を予定
 - ・第1回:7/28(木)に(現地視察)「豊川市 白川家住宅」を開催予定。
- ② 登録文化財特別公開事業(継続)
 - ・犬山市、名古屋地域、知多地域、尾張、三河の5地区、5日間での開催を予定。(10～11月の実施に向け調整中)
- ③ 登録文化財活用展開事業(新規)
 - ・登録文化財を活用した民間企業のビジネス展開をはかる。
 - ・10月9日(日)に「半田市 小栗家住宅」にて開催予定。

愛知登文会独自事業(予定)

文化財子どもプロジェクト —所有者からの主体的な取組みを支援する。

地域連携プロジェクト —iPhoneアプリ「登録文化財ナビ」の活用促進に取り組むとともに、ほかの登文会へ活用を働きかける。

愛知登文会の情報発信 —ホームページ・フェイスブックによる情報発信を行なうとともに、愛知登文会ニュース第14号、第15号、第16号にて活動報告を行なう。

県外視察 —県外の登録有形文化財や先進的取り組み等を視察する県外視察を企画・実施する。

表彰の実施 —登録文化財建造物の優良な活用を行った所有者・管理者等に対する表彰を行なった。第2回の表彰に向け、候補選定の方法など、具体的な検討を進める。

愛知登文会独自事業(実施済み)

企画展共催 —4月27日(木)～5月8日(日)に文化のみち榑木館にて、「なごや折り紙建築」を開催した。